

■効果の見える治水事業

南海地震対策の加速化と抜本強化の取り組みについて 急傾斜地崩壊対策事業（津波避難階段等の整備）



高知県安芸土木事務所長 高田 等

3月31日に内閣府が公表した「南海トラフの巨大地震による震度分布・津波高について」では、高知県の海岸部では、所によって30mを超す津波に襲われるとの想定が出されています。

特に、海岸部まで急峻な山地が迫る海岸部では、背後の高台へ、いかに早く避難できるかが課題となっています。このため、本事務所では、急傾斜地崩壊対策事業を活用した、安全な避難路の確保に取り組んでいます。

① 沿岸部の急傾斜地崩壊対策事業の促進

人家を保全するだけでなく、津波が発生した際の避難路をがけ崩れから保全する役目も果たすことから、沿岸部における急傾斜地崩壊事業に優先して取り組んでいます。

② 急傾斜地崩壊対策擁壁への避難階段の整備

急傾斜地崩壊対策擁壁に設置した維持管理用の階段を活用して、速やかに高台へ避難できるようにしています。今年度より、急傾斜地崩壊対策事業が完了している地域においても、既設の擁壁に津波避難階段を整備する取り組みを始めました。



避難路兼用の維持管理用階段の整備事例(幡多郡大月町小才角)

「急傾斜地崩壊対策事業が完了している奈半利町加領郷地区における整備計画」

奈半利町加領郷地区は、高知県東部にある人口262人の漁村集落であり、10mを超す津波に襲われるとの想定が出されています。地形的には、海岸部の間際まで急峻な山地が迫り、津波が襲来した場合、海岸付近における津波の最短到達時間の予測が約4分との想定が出されていることから、背後の高台に直ちに逃げる必要があります。しかしながら、高台の避難所である加領郷小学校と住家の間には、急傾斜地崩壊対策事業で整備された擁壁があり、迂回しないと避難できない状況にあります。

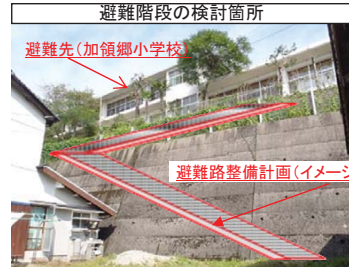
そこで、本年度内に、この擁壁に避難路の整備を図るべく、取り組んでいます。整備計画の策定にあたっては、地元の方々と協議し、スロープの形式で整備することとしました。

なお、本事務所では、安芸市伊尾木地区でも、避難路の整備に取り組んでいます。

これからも、このような防災事業を推進していきます。海沿いにお住まいの皆さまにおかれましては、避難路の確認を行うなど、日頃の備えをしていただくようお願いいたします。



奈半利町加領郷地区の避難計画図



避難階段の検討箇所

人いきいき地域が美しい町 なはり

奈半利町は、高知県の東部にあり、県都高知市より東へ約60Kmのところにあります。

北東に野根山をのぞみ、起伏に飛んだランドスケープを特徴とする奈半利の町は海、山、川と三拍子そろった見渡す限りの自然郷。澄んだ水、山々にこだまする小鳥たちの声、まっすぐな日射しの気持ちよさ、町のいたるところ四季折々の草花が咲き競い、空気のおいしさも、また別格です。町のあちこちに点在する旧跡や寺院、数々の滝、由緒ある民家の建ち並ぶ町並みなど、自然と歴史がミックスされた南国特有の明るく美しい町です。



奈半利町長 齊藤 一孝



奈半利の町並み

集落であり、近い将来起こると言われている南海地震では、海岸付近に約4分で津波が到達すると想定されているため、高知県に対して、迅速かつ安全に地域住民が高台まで避難できるように避難路整備の要望をしてきました。

この度、県により同地区の避難場所である加領郷小学校と最短距離で結ぶ避難階段等の整備がされることとなり、地域住民の安全確保対策が前進しました。今後は、自主防災組織とともに避難訓練等を行い、1人も人的被害を出さない取り組みを実践していきます。

平野部は奈半利町川の東部一帯に広がる穀倉地帯であると共に、商工業、教育文化施設等がまちの中心になっています。集落は、平野部の他に海岸沿いや、海岸段丘、あるいは、谷川に沿って散在しています。耕地の狭い海岸部では漁業が盛んです。山間部では農林業を営むなど、自然条件に適合した産業が行われています。

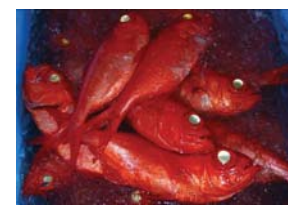
加領郷地区は、県内の沿岸部の多くにみられる太平洋と急峻な山に囲まれた狭隘な土地に、住宅が密集した漁業



ふるさと海岸のサンゴの群生



特産品『無花果』



特産品『金目鯛』



重要文化財『法恩寺跨線橋』